

作品募集中!

投稿締切: 令和7年

6/5
(木)

狂歌・笑歌

道歌

相聞歌

辞世歌

自然詠

挽歌

自由詠

八雲立つ出雲八重垣やえがきつまこし妻籠みに
八重垣作るその八重垣を 素戔嗚尊

応募期間

令和7年2月28日～令和7年6月5日

令和ことたま歌祭り・大賞発表

日時 令和7年7月

21日 午後2時

会場 於明治神宮参集殿

令和

第一回

ことたま歌祭り

短歌大賞



短歌の応募はこちら



日本学ユニバーシティ

Japanology University

北斎画「素戔嗚命」

令和ことたま歌祭りとは

「令和ことたま歌祭り」は、来る7月21日の海の日に明治神宮で開催されます。

この大会は、心の奥深くから湧き上がる悲哀を詠う短歌だけでなく、道歌や狂歌、自然の美しさを讃える短歌も大切にします。戦後の新文芸運動により、忘れ去られつつある道歌や狂歌をも含む幅広い歌風を対象として、日本文化の多様性とその深い根を見つめ直す場となるでしょう。歌を通じて国の活気を取り戻すこのプロジェクトには外国人枠も設けられ、世界中から短歌を募集します。

募集要項

応募方法

オンライン投稿

<https://form.run/@kototama-tank>

一般 1,000 円、学生無料（園児・児童・生徒含む）

上記 URL もしくは右の QR コードより応募ができます。

1 回につき 2 首まで応募できます。



応募はこちらから

最優秀賞

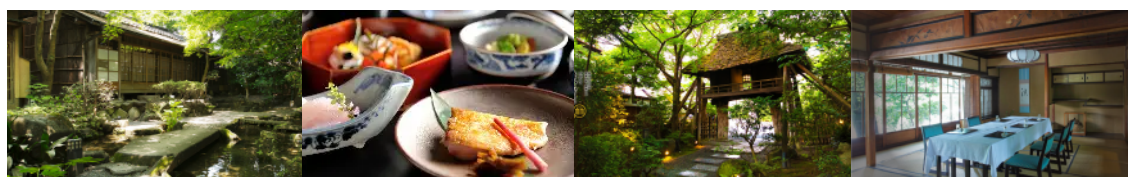
賞状、トロフィー

副賞：5 万円・選者と食事会 於 平八茶屋（京都に現地集合）

部門別賞

各部門 1 名 賞状、トロフィー

副賞：1 万円・選者と食事会 於 平八茶屋（京都に現地集合）



募集内容

短歌（下記部門・新作のみ）

- | | | | |
|-----|------|--------|--------|
| ①道歌 | ②自然詠 | ③狂歌・笑歌 | ④相聞歌 |
| ⑤挽歌 | ⑥辞世歌 | ⑦自由詠 | ⑧外国人部門 |

※外国人部門も日本語での応募となります。

募集期間

令和7年2月28日（金）～7年6月5日（木）

選者紹介



実行委員長 鎌田 東二

京都大学名誉教授
天理大学客員教授



荻野 アンナ

小説家・フランス文学者
神奈川近代文学館館長
慶應義塾大学名誉教授
芥川賞、読売文学賞



笹 公人

歌人・作詞家・絵本作家
大正大学客員准教授
令和4年度「NHK短歌」選者
「未来短歌会」選者

実行委員長あいさつ

「令和」は、わが国最古の歌集『万葉集』に典拠があるという。編者の大伴家持の歌の題詞に、「初春令月、氣淑風和」とあるところから採られたと。はつ春のよき月である正月、気もうるわしく風もやわらいでいる、ああ、いい季節だなあ、という思いが込められているとも解釈できる。また、「令」は「霊」に通じるという説もある。

さらに加えて言えば、「ことたま（言霊・事霊）」も『万葉集』の中で、当代随一の柿本人麻呂や山上憶良がわが国を「言霊の幸はふ国」「言霊の助くる国」と呼んだのが初出とみられる。

言葉は人類文化の心髄である。そしてその根っこに「ことたま」感覚がある。その言葉と言霊の発露がこの国では和歌となり短歌となった。その濫觴は、『古事記』や『日本書紀』の中の、須佐之男命（素戔鳴尊）の短歌「八雲立つ出雲八重垣妻籠みに 八重垣作るその八重垣を」にある。

「令和ことたま短歌大会」とは、この列島のすみずみにまで浸透した言霊感覚を活きた言の葉の歌祭りであることを目指している。それにより、根源的な生命力であり生成力である「むすひ」の発露を共有し、さらなる生成と創造の未来を期したい。

「令和ことたま」の魅力と威力に満ちた短歌の到来をお待ちしています。

鎌田 東二

大賞発表イベント「令和ことたま歌祭り」

応募された短歌の中から、最優秀賞と部門別賞（8部門）を選び発表・表彰します。

日 時：令和7年7月21日（月祝） 会 場：於 明治神宮 参集殿



特別ゲスト
片岡鶴太郎



司会・短歌朗読
砂岡 春奈



短歌朗読
東家孝太郎

令和ことたま短歌集

応募された短歌の中で優秀なもの掲載



写真はイメージです。

短歌を宇宙へ！

短歌集に掲載した短歌をモザイクアートにして、2026年にスペースX社のファルコン9に搭載し宇宙に届けます。



短歌入門講座（オンライン）

短歌を詠んだことがない方でも、短歌大賞に応募できるよう、勉強会を開催します。

講師：笹公人



【お申し込み】

ことたま短歌アンバサダー（賛同者）募集！

令和ことたま短歌大賞はボランティアで成り立っています。

ことたま短歌アンバサダーとして、この新しい短歌大会や歌祭りを広く周知し、運営する人を募集しています。また、ご寄付をいただける賛同者の方も募集しております。

実行委員

秋本真紀子、東家孝太郎、有川翠雲、安生祐治、石川博信、石田真由美、内田裕士、浦上豊、大倉志保美、大谷浩一郎、大八木潤、小笠原悦子、海法真司、神谷陽子、栗山泰充、具志川具志男、児玉直樹、後藤亜沙子、後藤美穂子、小堀悟徳、小林祈、國領満男、櫻井実香、齋藤和代、佐藤敬子、佐藤寿美絵、佐藤元相、篠原和夫、篠原仁美、篠原美香、島崎恵美、白崎則子、鈴木ゆかり、鈴木敏子、鷺見嘉博、高井信二、高木康治、高澤真高橋美智子、田口里香、ただゆみ、出口智、土光幸子、名木聡子、中塚英信、新田義治、日塔隆、延平昌弥、畑アカラ、原ちづる、東野りつ子、ひぐらしカンナ、平田由里子、福井秀平、藤田智子、星子桜文、政井千香子、増永修、牟田都己子、野菜さらだ、山田操、山本貴美江、吉岡さゆり、和田佳与、和田登美子

特別顧問

東家孝太郎、大倉正之助、大西智城、小谷剛璋、佐々木喜一、堤裕、東和空、松平洋史子、山田浩之

※50 音順

主管：令和ことたま短歌大賞実行委員会

実行委員長：鎌田東二

副実行委員長：笹 公人、星子桜文、出口 光

事務局長：浦上 豊

主催：日本学ユニバーシティ（JU）